



2026年1月7日

News Release

筑波大学附属病院
バイエル薬品株式会社

筑波大学附属病院とバイエル薬品、心不全の早期発見・患者紹介促進に向けた共同事業を開始

茨城、大阪、2026年1月7日 一
筑波大学附属病院(所在地:茨城県
つくば市、病院長:平松祐司)とバイ
エル薬品株式会社(本社:大阪市、
代表取締役社長:アシュラフ・アルオ
ウフ、以下「バイエル薬品」)は、心不
全の早期発見や心不全患者が適切
なタイミングで専門医の治療を受けら
れる体制の強化を目的として、共同
事業を開始することをお知らせしま
す。本共同事業による心不全の重症
化予防と予後の改善を通じて、茨城
県民の健康寿命延伸への寄与を目指します。

心不全早期発見・紹介促進事業に 関する契約を締結



(写真左より) 筑波大学附属病院病院長 平松祐司、同教授 石津智子、
バイエル薬品本部長 早崎剛典

心不全は重要な健康課題の一つで、心臓のポンプ機能が低下することにより、全身に必要な血液を供給できなくなる状態を指します。日本の心不全患者数は、正確な統計はないものの推計 120 万人です¹。人口の高齢化に伴い心不全患者数は増加を続けており、2030 年には 130 万人を超えると推計されています¹。心不全の主な課題としては、早期発見と適切な治療が挙げられます。心不全患者の多くは高齢者であり、初期症状がわかりにくいことがあるほか、複数の合併症を抱えている場合には治療が複雑になることがあります。

茨城県の心不全死亡率は全国を上回っており(標準化死亡比[全国平均を 100 としたときの比率]:男性 101.5、女性 108.6)、同県では循環器病対策の一環として、「心不全による緊急入院 0(ゼロ)」を目標に掲げ、地域医療連携・多職種連携を推進しています²。

筑波大学附属病院とバイエル薬品は本共同事業において、心不全を早期発見することの重要性について認識を高め、かかりつけ医に心不全の兆候や専門医への紹介基準を普及させる活動に取り組みます。同病院茨城県脳卒中・心臓病等総合支援センターが地域医療機関にアンケート調査を行い、かかりつけ医から専門医への患者紹介や医療機関同士の連携における課題を可視化するほか、患者さん向け的心不全啓発ポスター、心不全チェックリスト、かかりつけ医向けの専門医への患者紹介基準などの資材を作成し、配布します。

【本共同事業についてのコメント】

筑波大学附属病院 茨城県脳卒中・心臓病等総合支援センターセンター部長、循環器内科長、筑波大学医学医療系循環器内科 教授 石津智子

バイエル薬品と協働し、循環器病の撲滅という共通の目標のもと、心不全の早期発見と治療連携体制の強化を目指します。心不全は早期診断と原因治療が重要ですが、現状では重症化してから発見される例が多く、生活の質の低下や健康寿命の短縮を招いています。本事業を通じて血液検査の BNP／NT-proBNP を適切に活用し、かかりつけ医と専門医療機関が連携して早期診断と治療に結びつけたいと考えます。

バイエル薬品 製品戦略本部長 兼 アクセス&パイプライン戦略推進部長 早崎剛典

心不全の早期発見と治療連携体制の強化を目指す本事業を、筑波大学附属病院とともに推進できることを大変喜ばしく思います。バイエル薬品は地域の先生方と協働し、検査や診療体制の整備を進めることで、患者さんがより早期に適切な医療を受けられる社会の実現を目指して活動しています。本取り組みを通じて、BNP／NT-proBNP 検査の活用と地域連携の促進により、心不全患者さんの健康寿命の延伸に貢献してまいります。

References:

1. Okura Y, et al.: *Circ J*. 2008 Mar;72(3):489-91. doi: 10.1253/circj.72.489.
2. 茨城県. 第2期茨城県循環器病対策推進計画 2024年3月

筑波大学附属病院について

筑波大学附属病院は、1976年10月に開院し、現在40診療科、57診療施設、薬剤部、看護部、病床数809床で運営しております。本院は、「良質な医療を提供するとともに、優れた人材を育成し、医療の発展に貢献すること」を理念として掲げ、特定機能病院および医育機関として茨城県の医学・医療をけん引しております。また、県内唯一の高度救命救急センター、災害拠点病院、脳卒中・心臓病等総合支援センターなどの指定を受け、同県のよりよい広域医療体制、地域医療連携システムの構築にも貢献しております。詳細は <https://www.hosp.tsukuba.ac.jp> をご参照ください。

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中心事業とするグローバル企業です。私たちのミッション「Health for all, Hunger for none(すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」のもと、バイエルの製品とサービスを通じて、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題克服への取り組みをサポートすることで、人々の生活と地球の繁栄に貢献しています。バイエルは、持続可能な発展を推進し、事業を通じて良い影響を創出することに尽力しています。同時に、収益力を高め、イノベーションと成長を通して企業価値を創造することも目指しています。バイエルブランドは、世界各国で信用と信頼性および品質の証となっています。2024年のグループ全体の売上高は466億ユーロ、従業員数は約93,000名、研究開発費は62億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

医療用医薬品、コンシューマーヘルスの各事業を通じて、日本の患者さんのための治療に変革をもたらす持続可能な取り組みを推進しています。医療用医薬品部門では、アンメットメディカルニーズの高い循環器・腎・代謝領域、オンコロジー領域、眼科領域などのスペシャリティ領域、画像診断領域にフォーカスし、革新的医薬品の提供を通じて高齢化が進む日本の患者さんの健康寿命の延伸とQOLの向上に努めています。コンシューマーヘルス部門では、赤ちゃんの「人生最初の1000日」に適切な栄養を届けるため、女性の妊娠前から妊娠期間及び産後・授乳期を通じて栄養をサポートするサプリメントなどに注力しています。詳細は www.pharma.bayer.jp, [Facebook](https://www.facebook.com/bayerpharma), [YouTube](https://www.youtube.com/user/bayerpharma) をご参照ください。

筑波大学附属病院、バイエル薬品株式会社

2026年1月7日、茨城、大阪

この件に関するお問い合わせ先:

筑波大学附属病院 医療支援課

バイエル広報本部、広報本部代表

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている場合があります。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。